

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
S 21		1 社会教育課新設 1 寺中作雄「公民教育の振興と公民館の発想」☆ 7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」（寺中構想）☆ 9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」* 11 「日本国憲法」公布☆ 11 松筑公民館設置促進協議会*
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称	3 教育基本法公布☆
	8 第1回お城盆踊り開催	9 市立図書館にアメリカ民間読書室（CIE）設置
23	2 CIE読書室が図書館から松本市公民館へ移る	6 社会教育法制定☆
	10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館（30年12月焼失）	11 社会教育課を廃止し文教課を設置
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置	
	11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定	
	12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第1回成人学校を開設（この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目）	3 長野県公民館運営協議会結成*
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足	6 中央教育審議会設置☆
	6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称	7 社会教育主事講習職員1名派遣
	11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催	11 教育委員会発足
	11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	11 社会教育課に公民館係設置
28		8 青年学級振興法制定☆
29	4～8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成	
	8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される	
	一 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊	4 社会教育法一部改正☆
	4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	5 松本市役所庁舎完成
	4 松本市公民館条例施行規則制定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆
35	3 公民館報（全市版）発刊	4 内田が松本市と合併
	4 松本市公民館関係者研修会開催（町内公民館活動について話し合われる）	一 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
	4 各町内公民館に平均5,000円を配布	
	4 内田公民館発足	
	11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催	
	一 第1回松本市公民館大会開催（38年まで）	
	一 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	
36	3 神林公民館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載	9 長野県公民館研究集会開催*
	4 中央公民館（事業機関）、社会教育課（条件整備）の範囲明確化	
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市	
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される（任意設置） 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる － 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 － 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ － 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆	
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 － ユネスコで学習宣言、ポールラングランが「生涯教育」を提唱★	
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	－ 市青連芸術文化祭はじまる	
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を開催	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日の指標」☆	
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定（2000円・58館） 11 寿地区一周駅伝大会はじまる		
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和対策事業特別措置法公布☆	
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和対策審議会答申「松本市における同和対策はいかにあるべきか」	
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり」諮問 8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	4 松本市第一次基本計画策定（市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想）	
47	1 同和教育市民テキスト第1集刊行 4 公民館主事が専任化される 4 同和教育学級講座（県費補助）始まる 8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」 11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる － 今井公民館報で地域課題特集はじまる	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆	
48	4 新任主事研修会はじまる 12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行 － 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン 12 松本市生活簡素化実行委員会結成	
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名） 8 主事会新聞発刊 12 制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆ 4 社会教育課に同和教育係設置 5 本郷村が松本市と合併	
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求 7 社会教育主事講習受講機会拡大（2名） 8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊 11 公民館主事をつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」 － 国連婦人10年（～60年）☆	
51	3 制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動） 3 「町内公民館活動のびき」発刊 5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討） 4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定 9 部落解放都市宣言	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
51	9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	
52	3 制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」 (施設、町内公民館)	
	3 松本市婦人国内研修はじまる	
	10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」	
	11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4 町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」 を公表☆
	4 公民館主事に調整給支給される	
	12 主事宿泊研修が県外研修となる	
54	2 公民館報全市版100号記念(この号のみ8ページ)	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
	3 第1回公民館学級終了生作品展開催	
	4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分(平均15,000円、 最高30,000円)	
	7 松本市町内公民館館長会発足(9第1回研修会)	
	10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての 公民館が開館☆
	4 館報ことぶき縮刷版刊行	
	5 入山辺公民館改築(社会教育課による地区公民館の整 備事業開始)	
	7 和田出張所内に公民館図書室開設	
56	2 あがたの森(旧制高等学校校舎)が県宝に指定	3 第三次基本計画(コミュニティセンター構想を廃止、 現施設の拡充と市街地東西北に公民館設置となる =22館構想)
	5 芝沢公民館開館(新村・和田の両公民館が分館となる)	
	11 松本市公民館大会が開催直前で中止	
	11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	6 中教審答申「生涯教育について」☆
57	3 島内公民館改築	5 県、生涯教育の推進構想*
	4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設	ー 松本にカルチャーセンター(松本中日文化センター) オープン
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の 一律配分	
	6 北部公民館開館	
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる	1 本郷村誌刊行
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円	11 教育文化センター開館
	5 神林公民館改築	
	11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行	5 松本女性史の会『 ^{ほんま} 買春許すまじ』発刊
	4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円	8 臨時教育審議会設置☆
	6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置	11 今井農村改善センター開館
	ー 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし(前編・続 編)が完成	
60	1 公民館制度見直し委員会発足	3 ユネスコ「学習権宣言」☆
	3 館報しまだち縮刷版刊行	4 新村多目的研修センター開館
	3 『松本市の公民館制度充実をめざして』(制度研究委 員会報告)発刊	6 臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
	4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化	10 「松本市青年団運動史」発刊
	4 今井公民館・出張所移転	10 音楽文化ホール開館
	6 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円	
61	3 第1回松本市公民館研究集会開催	3 松本市婦人国内計画策定
	4 笹賀公民館新設開館	
	4 中山公民館改築	

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市		
61	4 モデル町内公民館指定事業始まる	4	松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実）	
	4 松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」	4	臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆	
	4 松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」			
	7 中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転			
	8 岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる			
	62	4 内田公民館改築	3	「長野県公民館活動史」発刊*
		4 南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置）	3	「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆
	63	10 松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	8	臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
1 笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発刊		4	文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始	
1 公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」		7	文部省に生涯学習局新設☆	
4 寿公民館改築		—	県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*	
4 里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる				
5 公運審答申「中央公民館の施設整備について」				
5 北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足				
5 和田公民館改築				
10 主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめる				
12 公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）				
H 1		4 島立公民館改築	8	教育委員会総務課に生涯学習担当配置
		4 ふるさとづくりモデル事業始まる	11	「子どもの権利条約」国連で採択☆
		9 公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足	12	厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
2		11 松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催		
		3 中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発刊（第2集…4年、第3集…8年）	1	中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆
		4 岡田公民館移転改築	4	教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織
	4 中央公民館夜間等警備委託化	6	「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆	
	4 南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば）			
	8 なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置			
	10 松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催			
	10 新村公民館図書室が多目的研修センターに開設			
	10 公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について			
	3	3 中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置	6	生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆
		3 寿台公民館移転改築	7	松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」
4 公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について		8	松本市総合体育館完成（体育課移転）	
5 公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ）		9	市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピューターネットワーク	
6 なんなんひろば利用者の会発足		10	松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長）	
8 松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行		10	県生涯学習基本構想策定*	
11 婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行				

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす	
		取り巻く状況	*県 ☆国ほか 無印は松本市
4	4 神林公民館で「すこやか健康教室」始まる	1	松本市生涯学習推進懇話会発足
	5 公民館報がページ増(全市版4p、地区版2p)	4	教育委員会総務課に生涯学習係設置
	— 南部公民館(なんなんひろば)で「信州年寄り通信」 発刊、以後定期的に発刊	9	学校第2土曜日が休日となる☆
5	1 公民館研究集会分科会の運営に市民が参画	3	松本市老人保健福祉計画策定
	3 芳川公民館移転改築	3	提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」 (松本市生涯学習懇話会)発刊
	3 中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発刊	5	西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移 転となる
	3 「町内公民館活動リーダー必携」発刊		
	4 公民館主事手当が条例化		
	7 松本城400年まつりにより、お城盆踊りが休止		
6	1 公民館報が「声の館報」としてテープ化	3	松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDAS U学びの森づくり」策定
	3 本郷公民館移転改築	4	「子どもの権利条約」批准☆
	3 新村公民館で「新村的暮らし—改訂版」発刊	4	教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学 習係及び青少年係が設置、文化課が新設
	3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとそ の移り変わり」発刊	5	生涯学習情報紙「学びの森いんふおめーしょん」発 刊
	3 神林公民館で館報200号合冊版「かんばやし」発刊	6	福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進 研究会」発足
	5 松本市成人学校が第100回記念講座開催		
	6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加		
	6 中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書 委員のつどい」開催		
	7 社会教育主事講習受講枠(新潟大学)が2名が1名へ		
11	市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる(信 大、市、市教委、市社協合同主催)		
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増 額(29,500円・30,500円・31,500円)	3	生涯学習記録「学びの森を生きる」発刊
	6 本郷公民館「公民館を語る会」発足	4	「地区福祉ひろば」の設置はじまる
	7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成	4	町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」
12	女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦 人のつどい実行委員会により発刊される	9	文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育 事業者に関する解釈について」☆
8	1 公民館研究集会幹事に分科会市民運営委員参画	12	第六次基本計画(公民館29地区29館構想)
	3 今井公民館『上條蝋司伝』発刊	4	生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の 充実方策」☆
	3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊	4	塩尻市に長野県生涯学習センター開館*
	3 寿公民館館報合冊版『館報ことぶき』発刊	4	県社会教育課が生涯学習課へ*
	3 中山公民館『館報200号合冊版』発刊	10	市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置(公 民館職2名参加)
	3 里山辺公民館館報合冊版「館報さとやまべ」発刊	11	社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじま る
	4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される	12	「男女共同参画2000年プラン」策定☆
	4 中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託		
	5 笹賀公民館利用グループの会発足		
	8 新村公民館が移転新築開館(公民館と福祉ひろば併設 の第1号)		
	10 公民館で日本語講座はじまる		
	11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催		
	11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる		
9	2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊	3	女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる(実行 委員として公民館職員参加)
	3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊	3	松本市障害者福祉長期行動計画
	4 東部公民館開館	4	公立社会教育施設建設補助金廃止☆
	4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止		
	4 和田公民館が増築開館		

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
9	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出 5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで） 5 公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合 7 島内公民館が移転新築開館	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆ 10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる
10	1 中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題） 2 今井公民館『館報200号合冊版』発刊 4 第二地区公民館開館 5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」 8 国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催 9 第1回公民館委員のつどいが開催 10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会でCD『今井のとうちゃん』制作 11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される 11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」 12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定 一 北部公民館の地域づくり講座はじまる	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告 3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆ 3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊 3 「男女共生プランまつもと」策定 3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆ 4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆* 5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置* 9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆ 12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆
11	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査 4 城東公民館開館 4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を附属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管 5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申 10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置 11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言* 3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行 4 同和教育関係の県費補助事業が廃止* 5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催 7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆
12	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊 3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成 4 城北公民館開館 4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管 9～文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実施	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」 4 改正された社会教育法が施行 12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆
13	1 安原地区公民館開館 1 市内の公民館でIT講習はじまる 3 中山公民館「中山の歳時記」発刊 3 神林公民館「ふるさとマップ」作成 3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊 4 田川公民館開館 4 Mウイング文化センター設置（同条例施行） 4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる 6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出 6 第1回女性センターまつり開催 7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催 9 公民館委員（体育・図書視聴覚委員）研修開催	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆ 4 中山文庫開館 4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆ 4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊* 6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆ 9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定 10 全国公民館研究会長野大会が長野市で開催☆ 11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
14	<ul style="list-style-type: none"> 3 Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設 3 第二地区公民館「歴史マップ」作成 4 Mウイングにふれあい国際・情報センター開設 6 島内公民館で四賀村と交流会を開催 6 町内公民館長会に女性部が発足 7 大手公民館開館 10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催 10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催 	<ul style="list-style-type: none"> 4 学校週5日制が完全実施される☆ 5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置 11 中教審中間答申 11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足 11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる 12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*
15	<ul style="list-style-type: none"> 2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催 4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出 4 町内公民館振興業務委託料が増額（30,000円・31,000円・32,000円） 9 北部公民館「地域交流～こんな町つくろう」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される 10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」 11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流 	<ul style="list-style-type: none"> 1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ 3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆ 3 松本市男女共同参画計画策定 4 松原町会が自治組織としての地区として独立 4 日本公民館学会が設立される☆ 4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される 5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出* 6 松本市男女共同参画推進条例施行 6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆ 6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆ 7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決 7 松本市・四賀村法定合併協議会設立 8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆ 10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行 12 地域・家庭教育活性化推進補助金（人権促進事業費等）が廃止される☆
16	<ul style="list-style-type: none"> 1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる？ 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催 3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催 4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行 4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加 5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足 5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加 6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催 7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加 	<ul style="list-style-type: none"> 1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆ 3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について（審議経過の報告）」☆ 3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆ 4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入 5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各郡市公民館運営協議会に依頼* 7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される 7 菅谷市長と語る会が30地区で開催 8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 * 県 ☆ 国ほか 無印は松本市
17	<p>9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加</p> <p>11 中央公民館長が専任に戻る</p> <p>11 入山辺公民館、大規模改修工事</p> <p>1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案</p> <p>1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」</p> <p>2 島内公民館「館報縮刷版」発刊</p> <p>2 『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊</p> <p>3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊</p> <p>4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始</p> <p>4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更</p> <p>4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足</p> <p>9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議</p> <p>9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置</p> <p>10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる</p> <p>11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される</p>	<p>11 社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート</p> <p>1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案</p> <p>3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂</p> <p>3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定</p> <p>4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併</p> <p>4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所</p> <p>4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*</p> <p>4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNPO法人に委託</p> <p>6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆</p> <p>6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆</p> <p>7 「食育基本法」施行☆</p> <p>7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる</p> <p>9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設</p> <p>9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆</p> <p>10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*</p> <p>11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>12 日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆</p> <p>12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆</p>
18	<p>3 市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画</p> <p>4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）</p> <p>4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）</p> <p>4 「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられる</p> <p>5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申</p>	<p>4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）</p> <p>4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート</p> <p>4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆</p> <p>4 長野市で都市内分権がスタート*</p> <p>5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 * 県 ☆ 国ほか 無印は松本市
	<p>6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）</p> <p>8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）</p> <p>10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊</p> <p>12 主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）</p>	<p>10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*</p> <p>10 松本市図書館でサポーター制度を導入</p> <p>11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる</p> <p>11 松本市「市民活動推進委員会」が発足</p> <p>11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足</p> <p>12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆</p> <p>12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆</p>
19	<p>3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う</p> <p>3 戦争体験の聞き取り事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）</p> <p>4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年</p> <p>4 市制施行100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）</p> <p>5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる</p> <p>5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される</p> <p>7 第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる</p> <p>9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションCafeなどが行われる</p> <p>11 館長会にて教育実践活動策定について説明</p> <p>11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）</p> <p>12 中央公民館にて、“しゃべりばinちゅーこー”や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる</p>	<p>2 松本市教育委員会および木曾町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退</p> <p>3 全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆</p> <p>3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆</p> <p>4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間で教育委員会に残し、その後所管を検討）*</p> <p>5 松本市制施行100年を迎える</p> <p>5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催</p> <p>6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆</p> <p>6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる</p> <p>9 医療制度改革施行☆</p> <p>9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*</p> <p>11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動</p> <p>12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる</p> <p>12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出</p>
20	<p>2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催</p> <p>3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立</p> <p>3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先）</p> <p>4 第三地区公民館 閉館。（あがたの森公民館が閉館）</p> <p>4 公民館委員報償費が年額単価から回数単価に変更</p> <p>4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行）</p>	<p>2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆</p> <p>3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査*</p> <p>3 松本市放課後子どもプランが策定</p> <p>4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大嵩崎町会が合併し、林町会となる</p> <p>4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される</p> <p>4 松本市第2次男女共生参画計画 策定</p> <p>5 松本市地域づくり推進基本方針 策定</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	<p>5 公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート</p> <p>6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館）</p> <p>6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心的に関わる</p> <p>6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出</p> <p>8 第2回公民館報編集委員交流会 開催</p> <p>9 町内公民館館長会30周年記念の集い 開催</p> <p>9 町内公民館パンフレット 製作</p> <p>9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる</p>	<p>5 『長野県公民館活動史Ⅱ』発刊*</p> <p>5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」が提案☆</p> <p>6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆</p> <p>7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆</p> <p>7 教育振興基本計画が閣議決定☆</p> <p>9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定</p> <p>11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定*</p> <p>12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・枠づけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆</p>
21	<p>1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察</p> <p>3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告</p> <p>3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞</p> <p>9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催</p>	<p>3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞*</p> <p>4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる</p> <p>4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる*</p> <p>4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入*</p> <p>9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足</p> <p>10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」※</p>
22	<p>3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館館長へ提出 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足</p> <p>4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館。（35地区すべてに公民館が設置完了）</p> <p>4 地区再発見情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了）</p> <p>5 ベトナム学習振興会が蟻ヶ崎西町内公民館を視察</p> <p>6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同）</p> <p>11 梓川公民館大規模改修事業 竣工</p>	<p>3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊</p> <p>6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定 地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる</p> <p>7 学都松本に向けた取組みを定める</p>
23	<p>5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」</p>	<p>11 松本市の教育に関するアンケート調査報告</p> <p>12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参酌）</p>
24	<p>9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催</p>	<p>3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言）</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
25	<p>9 松本市公民館活動実践事例集(地域・くらしと学びをつなぐ)を発刊</p> <p>3 神林公民館大規模改修事業竣工</p> <p>6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される</p> <p>10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)</p>	<p>3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定</p> <p>3 松本市地域づくり実行計画策定</p> <p>9 第1回学都松本フォーラム(学都松本を目指して)を開催</p> <p>2 松本市第3次男女共同参画計画 策定</p> <p>3 健康寿命延伸都市宣言</p> <p>4 市内15地区公民館(出張所機能を持たない館)に、地域づくりセンター準備職員を配置</p> <p>4 松本市子どもの権利に関する条例を制定</p> <p>6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める</p> <p>6 社会教育法一部改正☆</p> <p>6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆</p> <p>10 文部科学省委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村(上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村)へ再委託*</p>
26	<p>2 第29回松本市公民館研究集会が歴史的大雪により初めて中止となる</p> <p>4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する</p> <p>6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる(記録集3月発行)</p> <p>9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される</p> <p>12 入山辺公民館「入山辺文化誌(館報400号合冊版)」発刊</p>	<p>4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入*</p> <p>4 地域づくりセンターが各地区に設置される</p> <p>6 改正地方教育行政法が可決、成立☆</p> <p>6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆</p> <p>6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する</p> <p>10 「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」開催(岡山県岡山市)☆</p> <p>12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆</p> <p>12 特定秘密保護法施行☆</p>
27	<p>2 第30回松本市公民館研究集会が基調講演、過去最大数の11分科会により開催される</p> <p>3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞</p> <p>3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工</p> <p>4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する</p> <p>6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される</p> <p>8 文部科学省委託事業(公民館の学びがつなぐ、松本らしい地域づくり・人づくり事業)の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展</p> <p>9 地域学習テキストをモデル3地区(白板、本郷、波田)で発刊</p>	<p>3 松本市スポーツ推進計画策定</p> <p>3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定</p> <p>4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆</p> <p>4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆</p> <p>4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置</p> <p>4 地域づくり部(地域づくり課、地域づくりセンター)及び文化スポーツ部(スポーツ推進課を含める・旧体育課)の新設</p> <p>4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更</p> <p>7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆</p> <p>8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
28	<p>2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる</p> <p>3 今井公民館大規模改修事業竣工</p> <p>3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了</p> <p>4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入</p> <p>5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入</p> <p>6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施</p> <p>7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）</p>	<p>10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆</p> <p>10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定</p> <p>12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆</p> <p>184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」</p> <p>185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」</p> <p>186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」</p> <p>1 南部福祉総合施設「なんぶくプラザ」供用開始</p> <p>2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆</p> <p>4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置*</p> <p>4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆</p> <p>5 県政タウンミーティングを阿智村で開催*</p> <p>5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化*</p> <p>8 松本市第10次基本計画策定</p> <p>9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区）</p> <p>9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆</p> <p>12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆</p>
29	<p>1 「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、延1,115人が参加（1/28.29）</p> <p>3 内田公民館大規模改修事業竣工</p> <p>7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足</p>	<p>3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定</p> <p>3 中高、飯水の郡市公運協を統合し「中飯」へ*</p> <p>8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆</p> <p>9 文科省の組織改編に対し松本市から要望書を提出</p>
30	<p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、467人が参加した（2/18）</p> <p>3 笹賀公民館大規模改修事業竣工</p>	<p>3 県総合5か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）*</p>

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始 8 多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業開始(東京大学牧野研究室との共同事業)	12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」を取りまとめ☆
31	2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第34回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、378人が参加した(2/17) 3 和田公民館大規模改修事業竣工 3 波田公民館移転改修事業竣工	1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結
R 1	6 町内公民館活動の手引き改訂版発刊	4 第2層生活支援コーディネーターが7地区(第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田)に配置 6 「第9次地方分権一括法(地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律)」公布(6/7)☆ 9 旧開智学校校舎国宝指定
R 2	2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞(2/14) 2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」が中央公民館で開催され、412人が参加した(2/17) 3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞(3/12)	3 菅谷昭市長退任 臥雲義尚市長就任